



お客さまとともに

岡三証券株式会社様と――

U&U

Users & Unisys

“お客さまにとっての利便性と安心感”を追求した、
次世代オンライントレードシステムを構築



岡三証券株式会社 カスタマーセンター長
伏見 則幸様

独立系ならではの 機敏性・柔軟性を活かして、 “顧客・地域密着型”の 特色ある事業を展開

独立系の総合証券会社である岡三証券様は、1923(大正12)年の創業以来、時代の変化に機敏に対応した商品開発や顧客密着・地域密着型のサービスなど、独立系の強みを活かした事業を展開されており、とくにリテール(個人取引)分野では業界トップクラスの実績を誇っています。さらに、1998年の投信の銀行窓販、1999年の株式委託手数料完全自由化などを経て証券業界が“新しい自由競争時代”を迎えたことを受けて、同社では「すべてはお客さまのために」の基本理念のもと、2006年4月からお客さまや地域に根づいた「スーパーリージョナル証券をめざして」をテーマとする新中期経営計画がスタート。「本物の商

岡三証券様 会社概要

資本金:50億円(2003年10月1日現在)
従業員数:2,077名(2007年3月31日現在)
店舗数:国内59店舗、海外2拠点

 岡三証券
<http://www.okasan.co.jp/>

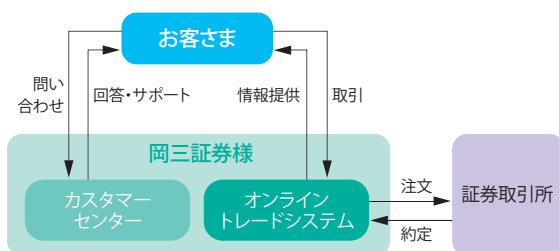
品・情報、サービスの提供」「地域に根ざした特色ある証券営業の確立」「働きがいのある会社ナンバーワンの実現」などの目標を掲げて、お客さま、株主、社員といったステークホルダーとの信頼関係を礎とした企業価値の向上に取り組んでいます。

「日本ユニシスには、当社の重点施策の一つである「次期証券システム(第三次基幹システム『ODIN※1』)の展開」を支援いただけてきました。これにより、従来は大型コンピュータ上で稼働されていたシステムをWindows®※2環境に移行し、リアルタイム化による利便性アップやローコスト化を実現することができました。また、オンライントレードのお客さま窓口拡充の一環としてコールセンターシステムのリニューアルもサポートいただいています」(カスタマーセンター長 伏見 則幸様)

※1 ODIN:
「Okasan Database Information Node」の略で、岡三証券様が運用するWindows®環境の新証券基幹系システムの名称

※2 Windows®:
Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です

オンライントレードシステムの位置づけ



従来のオンライントレードにはない “利便性と安心感”を提供するために

岡三証券様と日本ユニシスとのお付き合いは、電子計算機「ユニバック120」を導入いただいた約40年前にさかのぼります。以来、当社は岡三証券様が取り組むサービスの拡充や経営改革をバックアップするため、さまざまな技術・サービスを提供し、信頼関係を築いてきました。2006年度にスタートしたODIN第3フェーズの構築プロジェクトも、2003年から始まった「業務システム基盤の構築に関する業務提携」の一環として取り組んでいるものです。

ODINを基盤としたオンライントレードの構築にあたって岡三証券様が重視したのは、“お客さまにとっての利便性と安心感を向上させる”ことでした。現在、同社では店舗、オンライントレード、コールセンターの3方向からお客さまへのサービスを提供しています。なかでも、オンライントレードはインターネットの普及にともなって人気が高まっていますが、それとともに増加した個人投資家の中には経済の動向を独力で判断することに不安を感じている方も少なくありません。そこで、同社は、店舗窓口でもカスタマーセンターでも、ネット上でも、スムーズにお客さまが疑問・不安を解消できる環境の構築に取り組んでいます。

「新しいオンライントレードを構築するにあたっては、対面接客とネット取引それぞれの良さを活かして、これまでにない使いやすさ、利用しやすさを実現したいと考えています」(伏見様)

COMMENT 開発担当者から

現状に安住せず、さらに良いサービスをご提供していきたい

岡三証券様のオンライントレードシステムのインターフェース刷新に参加できたことで、さまざまな方々と意見を交わしながら、より良い方法を模索し、一つひとつ形にしていくといった“ものづくりの喜び”を味わうことができ、とても良い経験となりました。

新しいオンライントレードシステムを構築するうえでのポイントとして、情報量を大切にしつつも、「分かりやすさ」「見やすさ」をより重視しました。株価情報の自動更新やポートフォリオの損益計算表示など、画面に動画・アニメーション技術を駆使したソフトを用いて、お客さまにとっての操作性を向上させようと考えたのも、その一つです。前例の少ない新しい技術を全面的に取り入れた分、試行

ITと人間性を融合することで 新たなグランドデザインを描いていく

岡三証券様がめざす新しいサービスを実現するために、日本ユニシスグループはオンライントレードシステムのインタフェースを大幅に刷新することをご提案。動画やアニメーション技術を用いたソフトウェアを全面的に採用し、PCの操作に不慣れな方でも、株価情報のリアルタイム表示をはじめ、買い注文・売り注文・訂正・取消などをスムーズに行えるようにしました。このシステムはWebサイトの調査会社からも「従来の欠点を克服し、使い勝手の良いオンラインサービスへと進化を遂げている」との高い評価※を得ています。



「日本ユニシスの協力によって、これまでのサービスから格段に利便性を高めることができました。これを足がかりに、当社がめざす『お客さまの立場に立った、本物の商品・情報、サービスの提供』を実現していきたいと思います。日本ユニシスのCSRスローガンである『ITが人と社会にできること』は、オンラインサービスを提供している私たちにとっても重要なテーマですね」(伏見様)

2年後の完了をめざす「ODIN第3フェーズ」に向けて、岡三証券様と日本ユニシスグループは、現在も新たなグランドデザインを描き続けています。

※ Webサイトの調査会社の評価：
ゴメス・コンサルティング株式会社『総合証券オンラインサービスランキング』(2006年11月発表)

錯誤はありましたが、お客さまから「従来よりも格段に良くなった」という声も聞かれ、大変励みになりました。

しかし、改善の余地はまだあると考えています。私たち開発者の使命は、現状の評価に満足することなく、常に先んじてお客さまの課題やシステムの改善点を見つけ出し、品質を高めていくことにほかなりません。今後も、岡三証券様のオンライントレードシステムの使いやすさを高められるよ



う、お客さまへの積極的な提案に取り組んでいきたいと考えています。

日本ユニシス
金融第一統括プロジェクト
次期証券プロジェクト
三上 聡